

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	観光戦略推進部次長兼課長	氏名	良澤 和俊
評価者	組織	国際観光課	職	国際観光課長	氏名	北口 義一

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	海外誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (H37)	363,399 (H27)	529,473 (H28)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み					評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 東京オリンピック・パラリンピック競技大会 とその後を見据えた本県の認知度の向上 及び誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (H37)	363,399 (H27)	529,473 (H28)	1: ほとと石川観光推進ファンド事業資金 貸付金	外国人観光客	30,000	39,000	A	継続
							2: 海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	79,040	101,632	A	拡大
	課題2 外国人受入環境の充実						3: 海外誘客受地整備事業費	外国人観光客	2,170	1,889	B	継続

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名	専門員 橋本 康朝	者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的

平成28年3月に策定された「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟が実施する海外誘客促進事業の円滑な実施のために資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

2 事業内容

東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客

(1) (新) 海外MICE誘致の推進
東京都との連携による相互の魅力を活かした視察旅行の受け入れ、共同パンフレットの作成、旅行博への出展など

※MICE: Meeting(会議・研修)、Incentive(報奨旅行)、Conference(国際会議・学術会議), Exhibition(展示会) の4つの頭文字を合わせた言葉

(2) (新) 個人旅行者に対する情報発信の強化

- ・ 世界最大手の旅行予約サイトを活用した情報発信 (欧米豪、香港)
- ・ 欧州における観光誘客業務を担う代理人の設置
- ・ 国内ランドオペレーターと連携した誘客の促進 など

(3) (新) 経済効果が期待できる富裕層誘客の推進

- ・ 世界の富裕層向け高級レストランやホテルで組織される「ルレ・エ・シャトー」との連携
- ・ 京都市ほか5都市と連携した海外旅行会社等とのネットワーク構築 など

貸付先: (公社)石川県観光連盟
貸付額: 39,000千円

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進	評価	B			
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進					
指標	石川県内外国人宿泊者数	単位	人			
目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	1,000,000	162,161	242,392	293,956	363,399	529,473
事業費						
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算					30,000
	決算					39,000
一般財源	予算					0
	決算					0
事業費累計						39,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	<p>平成28年3月に策定したほっと石川観光プラン2016において目標として掲げた、海外誘客100万人の実現に向け、高い経済効果が期待できる取組として、欧米等に広いネットワークを持つ東京都や、先進的な富裕層誘客に取り組む京都市等と連携した招へい等を実施したほか、「ルレ・エ・シャトー」と自治体としては初めて海外認知度の向上や誘客促進に関する合意書を締結するとともに、情報発信力のある主要メンバーを招へいするなど、今後の誘客の足掛かりを築くことができた。</p> <p>このほか、世界最大の旅行予約サイト「エクスぺディア」を活用した情報発信や、欧州代理人の設置による情報の集約と発信を行うなど、本県の認知度の向上と情報発信の強化を図ることができた。</p>				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	<p>本事業は中長期的な視点での事業実施が必要であり、今後得られた富裕層を顧客として持つ組織や旅行会社などとのネットワークの構築を更に進めるとともに、引き続き本県の認知度の向上と情報発信の強化に努める。</p>				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客情報発信事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名	専門員 橋本 康朝	者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的
海外からの誘客で最も重要な認知度向上を図るため、海外における旅行イベントへの出展、メディアへの露出、現地旅行会社への商品造成支援や観光セミナーの開催など、各種観光プロモーション活動を実施する。北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着を図る。

2 事業内容

(1) 北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着

- ① (新)北陸アーチパスを活用した情報発信
 - ・ 北陸新幹線沿線自治体との連携による国際旅行博への出展やメディア招へい (欧米豪、東南アジア、台湾、香港) など
- ②北陸新幹線と航空便を組み合わせた旅行商品の造成
 - ・ (新)小松空港国際定期便と組み合わせた誘客(台湾、韓国、中国) など
- ③沿線自治体等連携による海外に向けた情報発信
 - ・ 国際旅行博への出展 (欧州、東南アジア)
 - ・ (新)メディア招へいの実施 (欧米豪、東南アジア)
- ④交通事業者等との連携による広域周遊観光の推進
 - ・ 昇龍道を活用した観光PR (中京圏)

(2) 国や地域の特徴に応じた戦略的な海外誘客の推進

- ①東南アジアにおける認知度の向上
 - ・ 現地での観光PRイベントの開催 (タイ・シンガポール等)
- ②ターゲットを絞った誘客の促進
 - ・ オーストラリアからの冬季誘客推進
 - ・ スポーツ・レジャーツアーの誘致 (台湾、韓国)
 - ・ 教育旅行の誘致 (台湾・中国) など

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進				評価	B
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進					
指標	石川県内外国人宿泊者数				単位	人
目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	1,000,000	162,161	242,392	293,956	363,399	529,473
事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	65,540	52,940	57,940	98,640	79,040
	決算	65,540	56,540	64,940	119,737	101,632
一般財源	予算	65,540	52,940	57,940	14,840	74,940
	決算	65,540	56,540	64,940	43,192	74,242
事業費累計		65,540	122,080	187,020	306,757	408,389
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	北陸新幹線開業前から、沿線自治体や交通事業者との連携を進め、広域周遊観光の推進に取り組んだほか、今後さらなる誘客の拡大が期待できる東南アジアや欧米豪を重点にそれぞれの国・地域の特性に応じた効果的な取り組みを行ってきた。 その結果、県内の外国人宿泊者数については、台湾は前年比43%増の157,321人、韓国は18,741人、中国は前年比61%増の48,410人、香港は前年比97%増の55,048人、欧米豪は前年比38%増の138,026人、東南アジアは前年比74%増の46,699人となるなどいずれも過去最多の宿泊者数を記録した。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	人口減少時代を迎え、国内観光のパイが限られている中、交流人口の拡大を図るには、年々拡大する海外からの観光客の誘客に目を向けていくことが重要であり、今後も引き続き、国や近県、県内市町及び民間事業者とも連携を深めながら、重点市場からの誘客に取り組む必要がある。 今後は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、更にその後を見据えた本県の認知度の向上に務めるとともに、引き続き北陸新幹線や小松・のと里山空港などの充実した交通インフラを活用し、広域連携による周遊観光の促進に取り組む。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客受地整備事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名	専門員 橋本 康朝	者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的

外国人観光客が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたり、県内事業者に対して受け入れに関する意識啓発並びに必要な支援を実施するほか、観光案内ガイドの人材育成を図ることにより、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。

2 事業内容

外国人旅行者の利便性の向上

①観光事業者への意識啓発

- ・インバウンド研究会等の開催
- ・飲食店・商業施設等を対象としたセミナーの開催

②外国語ガイドの育成

- ・通訳ガイド（通訳案内士、ボランティアガイド、観光案内所、ホテルコンシェルジュ等を対象とした、案内技能・接客意識の向上のための研修会の開催

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進				評価	B
課題	外国人受入環境の充実					
指標	石川県内外国人宿泊者数				単位	人
目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	1,000,000	162,161	242,392	293,956	363,399	529,473
事業費						
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算	2,000	6,220	5,100	9,000	2,170
	決算	2,000	6,220	5,690	21,844	1,889
一般	予算	2,000	6,220	5,100	9,000	2,170
財源	決算	2,000	6,220	5,690	4,924	1,889
事業費累計		2,000	8,220	13,910	35,754	37,643
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	<p>最近の外国人旅行者は個人、あるいは少人数での旅行が増加傾向にあることから、ひとりでも安心して旅行が楽しめるような受入環境の向上が必要である。</p> <p>このような中、観光事業者向けに外国人旅行者の動態や、寄せられることの多い要望を、セミナー等を通じて情報共有したほか、外国人観光客と直接やりとりをする観光案内所スタッフやホテルコンシェルジュ向け講演会の開催や、通訳案内士やボランティアスタッフ向けに実践的な研修を行うなど、外国人旅行者受入環境の向上を図った。</p>				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	<p>年々増加する外国人観光客に快適に県内での観光を楽しんでもらえるよう、多様化する外国人のニーズを把握し、引き続き様々な課題に対応すべく、外国人観光客の受入体制の整備を図る必要がある。</p> <p>特に北陸新幹線金沢開業により、個人旅行者の増加が見込まれることから、引き続き県内事業者に対する意識啓発や、快適な観光のための情報発信等、受入体制の充実に取り組む。</p>				